特別展「ミュシャ展　アール・ヌーヴォーの女神たち」

Mucha Exhibition: Goddesses of Art Nouveau

会　　期：11/28（土）～2027 年 1/24（日）
休 館 日：月曜日（祝日の 1/11 は開館）、年末年始（12/28～1/1）
開館時間：9 時 30 分～17 時 00 分（入館は 16 時 30 分まで）
主　　催：下関市立美術館　読売新聞社　KRY 山口放送
企画制作：アール・ヌーヴォーの女神たち実行委員会
協　　力：ＯＧＡＴＡコレクション
観 覧 料：一般 1,800 円／大学生 1,400 円

・18 歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料
・下関市内在住の 65 歳以上の方は半額
・身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳（障害の程度が頂症）をお持ちの方は無料
※いずれも公的証明書の提示が必要

■展覧会のみどころ

1. 世界有数のミュシャ作品所蔵数を誇る OGATA コレクションのうち約 150 点を展示
2. 下関市立美術館では初めて開催！作品展示と映像空間の両方を楽しめるハイブリット展覧会。
3. さまざまなイベントを実施

■展覧会について

アール・ヌーヴォーを代表する芸術家・デザイナーとして人気の高いアルフォンス・ミュシャ（1860～1939 年）。本展は、ミュシャの実物作品による展示空間と、作品たちが動き出す映像空間の両方を楽しめる、下関市立美術館では初めてのハイブリッド展覧会です。

作品展示は、世界有数のミュシャ作品所蔵数を誇る OGATA コレクションの全面協力のもと、代表的なポスターやデザインパッケージ、あるいは故郷チェコで発表された作品など約 150 点で、ミュシャの画業を余すところなく紹介します。また、大画面を用いた映像空間では、ミュシャが作品に込めた世界観を堪能することができます。



※他会場の様子

■第１章　麗しの女神

1895 年、フランスを代表する女優サラ・ベルナールが主演する演劇「ジスモンダ」のポスターを手がけたミュシャは、魅力的な女性像により一躍脚光を浴びることになりました。やがてポスターを収集する愛好家まで生まれ、「装飾パネル」というジャンルさえ登場しました。




左：《夢想》1897 年、OGATA コレクション
右：《黄道十二宮》1896 年 OGATA コレクション

■第２章　暮らしの彩り

豊かな色彩の印刷物は、パッケージ、ポストカード、カレンダー、メニュー表などに展開され、人々の暮らしを彩りました。商業的な人気にとどまらず、1900 年のパリ万国博覧会で受賞するなど、ミュシャは国内外で揺るぎない地位を確立しました。



《ランスの香水ロド》1896 年　OGATA コレクション

■第３章 スタイルの美

下積み時代から生計をたてるために始めた挿絵の制作は、人気作家となってからも続けられ、ミュシャの晩年まで続くいわばライフワークとして、重要な位置を占めています。ミュシャ・スタイルの見本帳とも言うべき『装飾資料集』は、デザイナーやデザインを学ぶ学生の手引き書として広く流通しました。



『装飾資料集』より《ケシ科の植物の実用的なデザイン案》
1902 年　ＯＧＡＴＡコレクション

■第４章　祖国と名声

1910 年、ミュシャは故郷チェコに戻り、本来やりたかった画家としての活動に着手します。同時に、祖国のための公的な仕事や、紙幣や切手のデザイン、さらに地域の催し物や独立を祝うポスターなど、祖国とスラヴ民族の発展を願った仕事を多く引き受けました。作品には伝統的な衣装を身にまとった女性たちが多く登場します。



《スラヴ叙事詩展》1928 年　ＯＧＡＴＡコレクション

■作品はすべて撮影 OK！

特別展「ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの女神たち」では、すべての作品を撮影いただけます。また、撮影スポットもあります。SNS への投稿も可能です。

※作品の動画の撮影はご遠慮ください。※作品を撮影する前に展示室入口前に設置中の撮影ルールをご一読ください。

関連催事

1.コレクター尾形寿行氏によるトーク

日時	2026 年 11 月 28 日（土曜日）13 時 00 分～（約 1 時間） 2026 年 11 月 29 日（日曜日）11 時 00 分～（約 1 時間）
備考	特別展展示室にて。参加は無料ですが、当日の特別展観覧受付が必要です。

2.ギャラリー・トーク

日時	2026 年 12 月 5 日（土曜日）13 時 00 分～（約 1 時間） 2027 年 1 月 7 日（木曜日）13 時 00 分～（約 1 時間）
備考	特別展展示室にて。参加は無料ですが、当日の特別展観覧受付が必要です。

3.簡易リトグラフ講座【要事前申し込み・抽選】

日時	2026 年 12 月 6 日（日曜日）13 時 00 分～16 時 00 分
場所	下関市立美術館 造形室
講師	原野啓次氏（画家）
内容	アルミ版を使い、2 色刷りのリトグラフ作品を作ります。
対象・定員	中学生以上の一般の方／12 名
参加費	2,000 円
申込	下関市立美術館に来館、電話もしくは応募フォームにより、11 月 9 日（月） までに要申し込み。11 月 16 日（月曜日）を目途に、抽選結果を通知します。

4.ショート・トーク

日時	会期中の毎週水曜日 10 時 00 分～、14 時 00 分～　各日 2 回（15 分程度）
備考	特別展展示室にて。参加は無料ですが、当日の特別展観覧受付が必要です。

5.イラストコンテスト

ミュシャの作品から着想した、手描きによるイラスト作品を募集します。
応募作品は、特別展会期中（11 月 28 日～2027 年 1 月 24 日）美術館内で展示します。
審査のうえ、受賞者には特別展主催者から（ささやかな）賞品をお送りします。

部門	⑴小学生以下の部 ⑵一般の部（中学生以上）
受付期間	2026 年 10 月 1 日（木曜日）～11 月 13 日（金曜日）（必着） 作品に出品票を添えて、美術館に持参もしくは郵送にて受付。
審査	2026 年 11 月 27 日（金曜日）
賞	下関市立美術館長賞、読売新聞社賞、山口放送賞、コレクター特別賞（予定） ※授賞式は行わず、賞品は郵送により贈呈いたします。 ※審査結果は、美術館公式ウェブサイトに掲載します。
募集規定	平面の作品で、技法は問いませんが、手描きのものに限ります。 サイズは、ハガキ（14.8×10.0cm）以上、A3（29.7×42.0cm）以下に収まるサイズであること。
その他の事項	・プロ、アマを問わずどなたでも応募できます。 ・応募は 1 人 1 点のみで、未発表で、オリジナルの作品に限ります。 ・プリンターによる出力、印刷したものは対象外です。 ・額装は不要（展示にあたり、鋲による穴が開くことを了承のうえ応募してください）。 ・AI 生成による作品は応募不可（制作時に参照した作品や資料があれば、出品票に記入すること） ・公序良俗に反するもの、他者を中傷するもの、既存のキャラクターなど第三者の知的財産権を侵害するものでないこと。 ・作品の返却を希望する場合 2027 年 2 月 26 日（土曜日）～3 月 22 日（月曜日・振休）の美術館開館時間内に来館してください。郵送での返却はいたしかねます。

下関市立美術館
Shimonoseki City Art Museum
展覧会担当：渡邉、片岡

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町 1-1
TEL：083-245-4131　FAX：083-245-6768
Mail：kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
HP：https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/

美術館
ウェブサイト